

CyberChefood を導入された大手食品メーカーさま
(食品工場向け製造実行システム)

新工場の建設に伴い、MESをはじめて採用。 人的ミスのゼロ化、製造工程の効率化が実現。

導入の 目的

- 多品種少量生産への対応。
- トレーサビリティ機能およびフードディフェンス機能の強化。
- 作業端末を活用した手順の確認やバーコードリーダーによるチェックの実現。

選定の 決め手

- 多品種変量の生産形態、また急な生産計画変更に対応可能な柔軟なシステムであったこと。

システムの概要

【多品種変量生産への対応】

生産管理システムERPとの連携により柔軟な対応が実現できている。製造レシピが毎回異なる場合でも、生産計画に基づいて自動で変更され、工程完了のタイミングで都度ERPへ送信をおこなっている。

【工程進捗を一元管理】

標準作業指示書をシステム化しており、原料受入から配合、充填、包装、自動倉庫格納まで一貫して工程管理をおこなっている。

【二次元コード認証によるヒューマンエラーの防止】

二次元コードが表示された入荷原料分のラベルが自動発行され、専用のバーコードリーダーで読み取ることで受入処理がおこなわれる。システム上の在庫として自動登録されるなど、現場作業の各プロセスにおいて二次元コードが活用されており、自動化が実現できている。

実現 できたこと

- 多品種変量生産への柔軟な対応と作業の一般化。
- 製造の一元管理による効率化。
- 人手作業におけるミスのゼロ化。



 株式会社 日立ハイテクソリューションズ

[本資料に関するお問い合わせ] OT事業本部 デジタルソリューション事業ユニット
Mail : hsl_marketing.dg@hitachi-hightech.com
Website : <https://www.hitachi-hightech.com/jp/ja/products/ot-solution/mes/cyberplant/>
〒105-6412 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー TEL : 03-3504-3155(代表)

